

平成27年度発行分前半

山口県（平成27年度）

この記念貨幣は、錦帯橋と秋吉台をデザインしています。

※錦帯橋：山口県岩国市の錦川に架かる5連の木造橋。

1673年（延宝元年）岩国藩3代藩主吉川広嘉により創建された。日本三名橋や日本三大奇橋の1つに数えられ、国の名勝に指定されている。

※秋吉台：山口県のほぼ中央部にある日本最大のカルスト台地で、国立公園及び特別天然記念物に指定されている。

徳島県（平成27年度）

この記念貨幣は、鳴門の渦潮と阿波おどりとともにすだちの花をデザインしています。

※鳴門の渦潮：徳島県鳴門市と兵庫県南あわじ市の間にある鳴門海峡において、潮の干満によって発生する世界最大規模の渦潮。春と秋の大潮時に最大となり、潮流時速20km、最大直径20mにも及ぶ。その上には、本州四国連絡橋神戸・鳴門ルートの一部であり、1985年（昭和60年）6月8日に開通した全長1,629mの大鳴門橋が架かっている。

※阿波おどり：四百有余年の昔から脈々と踊り続けられている、徳島が世界に誇る伝統芸能。その起源には、徳島城築城起源説、能の源流と言われる「風流踊り」起源説、盆踊り起源説など諸説ある。毎年8月12日～15日に開催され、120万人以上が訪れる「徳島市阿波おどり」をはじめ、徳島県内各地で踊られているほか、全国でも数多くの阿波おどり大会が催される。

※すだちの花：すだちは徳島原産であり、全国に出荷されるすだちのほぼ全てが徳島県産である。毎年5月中旬頃に白く小さな花を咲かせ、その花は徳島県の花に指定されている。

福岡県（平成27年度）

この記念貨幣は、沖ノ島と宗像大社とともに国宝・金製指輪をデザインしています。

※沖ノ島：4世紀後半から9世紀末まで、対外交流の成就と航海の安全を祈って国家的祭祀が行われた玄界灘の絶海の孤島。「海の正倉院」といわれ、22ヶ所の祭祀遺跡が良好に保存されており、出土した約8万点の奉獻品すべてが国宝に指定されている。

※宗像大社：沖ノ島の沖津宮（おきつみや）、大島の中津宮（なかつみや）、田島の辺津宮（へつみや）の三宮からなる神社。朝鮮半島に向かう海の道「海北道中（かいほくどうちゅう）」を守る宗像三女神を奉斎している。辺津宮の本殿及び拝殿は国の重要文化財に指定されている。

※金製指輪：沖ノ島の出土品の一つ。同種の指輪が韓国慶州の新羅王陵からも出土しており、朝鮮半島の三国時代に新羅からもたらされたものと考えられている。1962年（昭和37年）に国宝に指定。